

旧赤松家だより

平成 30 年 9 月 12 日



九月に入りました。元気よく鳴いていたセミの声に替わり、虫の音が秋の訪れを告げています。ウォーキングや散歩を兼ねて、秋をみつけに当館への散策はいかがでしょう。

旧赤松家記念館では、徳川宗家十六代当主家達から、婚礼の際に、赤松家に贈られたと伝えられている『緝穆』(仲睦まじくする)と『和合』(うちとけて仲良くする)と書かれた大幅な掛け軸を展示しています。

赤松家三代目当主であり、初代磐田市長を務めた赤松照彦は、二軸を市長室に掛けていたといいます。手元におき、日々眺めながら、市政を思い、わが身を省みていたのかもしれませんが。



今月 12 日から内蔵ギャラリーでは、大須賀義明さんの『前期展 西遠から三河へのスケッチ散歩』を開催しています。

浜名湖・舞阪・新居から三河までを描いた大須賀さんならではの奥深く温かみのある作品を展示していますので、ぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『前期展 西遠から三河へのスケッチ散歩』

開催期間：9月12日(水)～9月24日(月)

*休館日 9月18日(火)

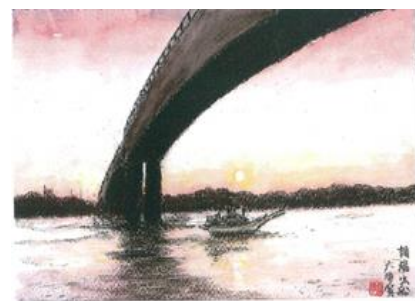
開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後3時まで)

入場料：無料

出展者：大須賀 義明

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より